

建築物ネズミ昆虫等防除業の記載例

登録申請書

平成26年4月1日

大分県知事 殿

住 所 大分県別府市〇〇町〇丁目〇番〇号
氏名又は名称 株式会社 〇〇メンテナンス
代表者の住所及び氏名
大分市〇〇町〇丁目〇番〇号
代表取締役 大分太郎
事務所 TEL0977-00-0000

建築物における衛生的環境の確保に関する法律第12条の2第1項の登録を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 登録区分	建築物ねずみ昆虫等防除業
2 営業所の所在地及び名称	大分県別府市〇〇町〇丁目〇番〇号 株式会社 〇〇メンテナンス
3 営業所の責任者の氏名	大分太郎

第4号様式（第4条関係）

設 備 及 び 機 器 名 簿

平成26年3月31日現在

名 称	型 式	数 量	購 入 年 月
照明器具	〇〇社 A-1型	3	平成24年1月
調査用トラップ	弊社製	3	平成24年1月
実体顕微鏡	〇〇社 B-2	1	平成24年1月
毒じ皿	プロテクタペイトステーション	30	平成24年1月
毒じ箱	〇〇社 C-3	30	平成24年1月
捕そ器	〇〇社 D-4	30	平成24年1月
噴霧器	〇〇社 E-5	3	平成24年1月
散粉機	〇〇社 F-6	3	平成24年1月
真空掃除機	〇〇社 G-7	3	平成24年1月
防毒マスク	〇〇社 H-8	5	平成24年1月
消火器	〇〇社 I-9	2	平成24年1月

※機械器具の写真を添付すること。

※専用保管庫（鍵付き）の設置場所及び構造並びに保管状態を明らかにする図面を添付すること。

第5号様式（第5条関係）

監 督 者 等 名 簿

平成26年3月31日現在

監督者、実施者等の別	氏 名	業 務 範 囲	経験年数	資 格 の 種 別	資格取得年月日
防除作業監督者	大 分 次 郎	防除作業業務全般	10年	防除作業監督者講習会修了 (防第〇〇号)	平成〇〇年〇月〇日

注1 「監督者、実施者等の別」欄には、清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空気調和用ダクト清掃業の場合はダクト清掃作業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、飲料水貯水槽清掃業の場合は飲料水貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃業の場合は排水管清掃作業監督者、建築物ねずみ昆虫等防除業の場合はねずみ昆虫等防除作業監督者、建築物環境衛生総合管理業の場合は統括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者について記入する。

2 「業務範囲」の欄には、監督者等が複数いる場合には、それぞれの業務分担を書く。

3 「資格の種別」欄には〇〇講習会終了、建築物環境衛生管理技術者等と記入する。

第6号様式（第6条関係）

研修実施状況（計画）（25年4月1日から26年3月31日まで）

（新規の場合の記載例）（注）再登録の場合は過去6年間の実績を記載のこと

平成26年3月31日現在

研修の期日	研修の内容	指導員の氏名及び資格	対象従業員数	参加従業員数
（過去1年間の実績） 平成25年7月9日	機械器具の種類と使用方法 1時間	大分次郎 （従事者研修指導者） 防除作業監督者	5名	5名
	薬剤（殺鼠剤・殺虫剤）の 種類と使用方法 2時間			
	安全及び衛生 1時間			
	建築物の環境衛生行政 1時間			
	作業従事者の責任と責務 1時間			
	建築物構造や設備とネズミ・ 昆虫等 1時間			

第6号様式（第6条関係）

研修実施状況（計画）（26年4月1日から27年3月31日まで）

（新規の場合の記載例）（注）再登録の場合は過去6年間の実績を記載のこと

平成26年3月31日現在

研修の期日	研修の内容	指導員の氏名及び資格	対象従業員数	参加従業員数
（今後1年間の計画） 平成26年7月9日	機械器具の種類と使用方法 1時間	大分次郎 （従事者研修指導者） 防除作業監督者	5名	5名
	薬剤（殺鼠剤・殺虫剤）の 種類と使用方法 2時間			
	安全及び衛生 1時間			
	ネズミ害虫防除概論 1時間			
	害虫ごとの生態と防除 2時間			

作業実施方法等

平成26年3月31日現在

作業	作業班	監督者等	使用する機械器具
班編成	第1班（構成員6名：責任者1名 従事者5名）	監督者 大分次郎	照明器具、調査用トラップ、実体顕微鏡、毒じ皿、毒じ箱、捕そ器、噴霧器、散粉機 真空掃除機、防毒マスク、消火器
作業手順等	<p>1 ねずみ等の発生場所、生息場所及び侵入経路並びにこれらによる被害の状況を調査し、当該調査の結果に基づき、建築物全体について効果的な作業計画を策定し、適切な方法により、防除作業を行う。</p> <p>2 食料を取り扱う区域並びに排水槽、阻集器及び廃棄物の保管設備の周辺等特にねずみ等が発生しやすい箇所について、二月以内ごとに1回、その生息状況等を調査し、必要に応じ、発生を防止するための措置を講じる。</p> <p>3 防そ防虫網その他の防そ防虫設備の機能を点検し、必要に応じ補修等を行うほか、ねずみ等の侵入を防止するための措置を講じる。</p> <p>4 殺そ剤又は殺虫剤を用いる場合は、使用及び管理を適切に行い、これらによる作業員並びに建築物の利用者及び利用者の事故の防止に努める。また、これらの薬剤は施錠できる保管庫に保管する。 ※使用する薬剤の種類：フェニトロチオン、ジクロロボス、ダイアジノン ※保管責任者：大分次郎</p> <p>5 ねずみ等の防除作業終了後は、必要に応じ、強制換気や清掃等を行う。</p> <p>6 作業終了後、被害調査、生息実態調査を行い、防除作業が不十分な場合再度作業を実施する。</p> <p>7 ねずみ等の防除作業に用いる機械器具その他の設備について、定期的に点検し、必要に応じ、整備又は修理を行う。 ※保管管理責任者：大分次郎</p> <p>8 作業報告作成の手順については、次の事項に関するねずみ等の防除作業報告書を2部作成し、1部を依頼者へ渡し1部を自社で保存する。 ・実施年月日 ・実施者氏名 ・作業内容 ・点検及び補修内容 ・薬剤等の種類及び分量 ・作業前後のカラー写真等 ※報告書作成・保管責任者：大分次郎</p>		

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

ねずみ等の防除作業及びねずみ等の防除作業に用いる機械器具その他の設備の維持管理は、原則として自らが実施する。

これらの業務を他の者に委託する場合は、あらかじめ、委託を受ける者の氏名（法人にあっては、名称）、委託する業務の範囲及び業務を委託する期間を建築物の所有者、占有者その他の者で当該特定建築物の維持管理について権原を有する者（以下「建築物維持管理権原者」という。）に通知するとともに、受託者から業務の実施状況について報告を受けること等により、受託者の業務の方法が前様式「作業手順等」に掲げる要件を満たしていることを常時確認する。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からのねずみ等の防除作業及びねずみ等の防除作業に用いる機械器具その他の設備の維持管理に係る苦情及び緊急の連絡に対して、迅速に対応できる体制を整備する。

苦情及び緊急の連絡に対しては、防除作業監督者が迅速に対応し、処理後は建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者に対して速やかに報告する。

（連絡・対応体制）

事務所に連絡有→防除作業監督者及び代表者に連絡→防除作業監督者が（必要に応じて従事者とともに）迅速に対応→処理状況を建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者に報告